

「がん罹患者の血中エピゲノム異常蓄積の探索」研究に
健常ボランティアとして参加された方へ
QST病院で骨軟部肉腫のため放射線治療を受けた方へ

量子科学技術研究開発機構（量研）では、がん患者様の診療で使われた医療情報（カルテ・画像・検査のデータ）と検査及び研究のために採血保存させて頂いておりました血液、そして健康な方から頂いた血液を用いて、遺伝子の働きを変えるDNAの目印（修飾）を大規模解析（メチローム解析）し、がんの早期発見及び治療評価のためのバイオマーカーを探索する研究を実施致します。この研究の成果は、早期発見による生存率の向上に加え、治療効果を早期に評価して追加治療を行うなど治療箇所の再発を防ぐ方法を検討することで重粒子線治療の成績向上などに役立つ可能性を秘めています。この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる方お一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 重粒子適応難治性骨軟部肉腫の早期発見・局所制御バイオマーカーの新規高感度探索

[実施期間] 許可日～2026年3月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 QST病院 重粒子線治療研究部

[研究責任者] 相場 俊樹

[研究の目的] 骨軟部肉腫患者さんと健常者の方の血液を用いて新規高感度メチローム解析を行い、比較することで、がんの早期発見及び治療評価のためのバイオマーカーを見出すことを目的として行います。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々

「がん罹患者の血中エピゲノム異常蓄積の探索」（研究計画書番号：19-009）の健常ボランティアとして同意と合わせて二次利用の同意もいただいている方及びQST病院で骨軟部肉腫のため放射線治療を受けた患者様のうち、メディカルデータバンクの同意をいただいている方

●利用する試料・情報及び利用方法

本研究では「がん罹患者の血中エピゲノム異常蓄積の探索」に関する臨床研究の健常ボランティアとして同意を頂いた方から提供頂いた血液及びデータとメディカルデータバンクに同意した方から既にいただいている血液試料や診療情報をこの研究の解析に利用させていただき、その結果を個人が特定できないようなデータとして学会や論文で研究結果を発表します。そのため、この研究目的で新たな採血や診療は行いません。

[個人情報の取り扱い]

この研究では、個人情報（氏名、住所など）は使用しません。また、個人が特定されるような研究結果の公表は致しません。（研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

【MDBの患者さんの問合せ先：窓口】

量研 QST病院メディカルデータバンク同意・相談窓口 043-206-3306（平日9：00～17：00）

【19-009の健常ボランティアさんや個別研究の内容についての問い合わせ：窓口】

量研 QST病院重粒子線治療研究部 相場俊樹 043-206-3375（火一金 9：00～17：00）